



資生館小学校が誕生しました！

資生館小学校の自己紹介



校名の由来

地域住民や児童からの公募で決定

「資生館」とは、明治四年開拓使に置かれた学問の場で、札幌の小学校の元祖です。そこで、統合された小学校の歴史と伝統を尊重し、一つにまとまり初心に帰って、新たに出発するという思いが込められています。

校歌

〜夢かなう学校〜

一 風かおる 学びの窓辺

時計台 鐘の音ひびく

集う友 共に学ぼう

夢叶う 資生館小学校

二 開拓の 歴史はつづく

北斗星 輝く大地

生かしたい すてきな自分

人つくる 資生館小学校

規律があり、人材を鍛えるのに必要な自由な教育の実現を目指し、子どもの自主・自律を促すとともに、心と智慧をはぐくんでいきたいという思いが込められています。

作詞

資生館小学校
鈴木真行校長

教育目標

豊かな知恵と心

世界にはばたく

すてきな人

自分の夢や願いにむかい

進んで学ぶ子

相手のことも考えて

ともに行動できる子

どんなことにもくじけない

強い心と体をもつ子

校章

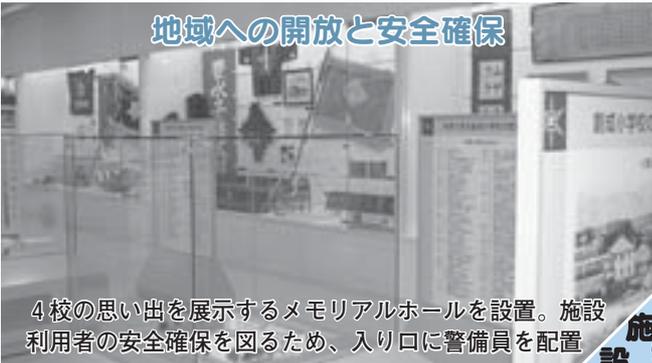


統合された四校を表す星に囲まれた円は、豊かな人間性を象徴しています。東西南北に延びる光の中心で「資生館」のイニシャルSを背景に、中央で躍動している人物は、未来に向かって健やかに成長する子どもの姿を表しています。

デザイン

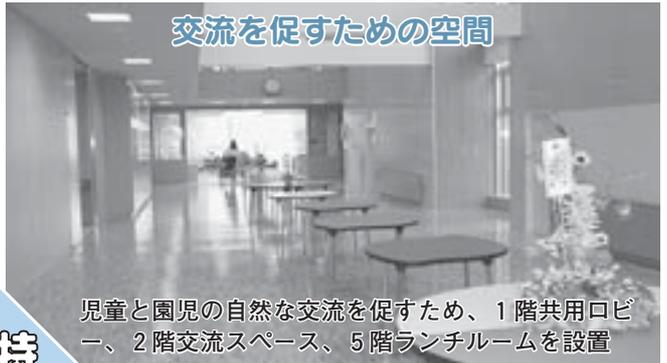
資生館小学校
益村豊教頭

地域への開放と安全確保



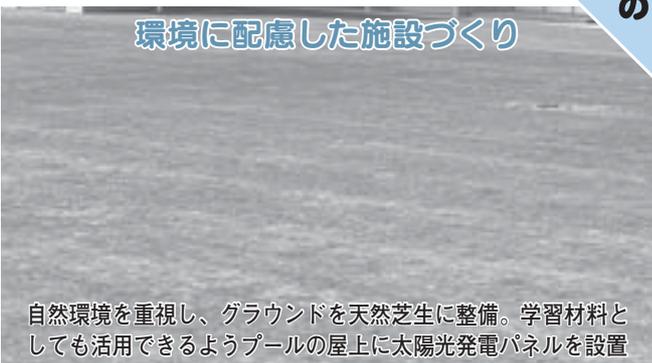
4校の思い出を展示するメモリアルホールを設置。施設利用者の安全確保を図るため、入り口に警備員を配置

交流を促すための空間



児童と園児の自然な交流を促すため、1階共用ロビー、2階交流スペース、5階ランチルームを設置

環境に配慮した施設づくり



自然環境を重視し、グラウンドを天然芝生に整備。学習材料としても活用できるようプールの屋上に太陽光発電パネルを設置

広い学習空間と自然光の確保



普通教室はワークスペース併設のオープン教室。自然光を確保するため南側に教室を配置し、3階に吹き抜け部を設置

施設の特徴

札幌都心部子ども関連複合施設の周辺図



地下鉄南北線「すすきの駅」1番出口より徒歩5分
市電「資生館小学校」前下車徒歩2分

子育て支援総合センター



親子同士が気軽に交流できます。
開設時間 午前9時～午後5時
■詳細 ☎208-7961

資生館小ミニ児童会館



開館時間 下校時（学校休業日は午前8時45分）～午後6時
■詳細 ☎208-5828

しせいかん保育園



延長保育・一時保育も実施。
定員は120人
■詳細 ☎204-9560

ほかの複合施設のご紹介